

研修部会活動報告（2006年度）

東松山研修室長 河野良継

1. 東松山研修室においては、1・2年生（国際関係学部生は1～4年生）等を対象に、基礎学力の養成を目的とした講義・演習を中心とする講座・科目を開講している。本年度より、従来のコースを、法職・ロースクール進学対策講座に衣替えすることとなった。これは、司法試験、国家Ⅰ種・Ⅱ種、地方上級、司法書士、宅地建物取引主任者などの試験に加えて、ロースクール既習者コースへの進学にとっても必要とされる基礎学力の養成を目的とするコースである。研修生の大半は、法学部生であり、その数も、昨年と比べ大きな変化はないが、他学部学生の受講生が少ないので、是非、これらの学生の受講を歓迎したい。
2. 研修室には、研修の便宜をはかるために、若干の施設が用意されている。なお、昨年度、机に衝立（仕切り）が置かれるようになって以来、研修生が隣を気にすることなく、勉学に励むことができるようになった。とはいえ、現状では、あまり整備された環境であるとは言いがたい。例えば、研修室のスペース、照明の明るさ、机のサイズおよび数、出入り口の引き戸の音等、改善されるべき点は多い。また、毎年、前研修室長も指摘されていることではあるが、研修生が落ち着いて勉学できるためにも、勉学用・事務用の2部屋が必要かと思われる。欲をいえば、研修生が勉強会で議論しあったり、あるいは一息入れることができたりするような室（談話室）を設けてもらえれば、私語のような問題も解決されるであろう。参考書や雑誌の数については、ここ数年で多少なりとも充実をはかってきたが、まだ十分であるとはいえないので、今後一層の充実が望まれる。
3. コースに関していえば、受講生の数が増えることで、研修生相互で刺激しあうことにより、各自の学習意欲がより奮起されるであろうことを考えるならば、法学部生はもとより、他学部生にも受講するよう、PRの面でより多くの力を注ぐ必要があるかと思われる。